

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																																									
専門学校武蔵野ファッションカレッジ		昭和51年10月1日		須澤 麻紀		〒 1710022 (住所) 東京都豊島区南池袋3-12-5 (電話) 03-3982-6117																																									
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																																									
学校法人後藤学園		昭和25年9月22日		後藤 人基		〒 171-0022 (住所) 東京都豊島区南池袋3-12-5 (電話) 03-3982-6152																																									
分野		認定課程名		認定学科名		専門士認定年度		高度専門士認定年度		職業実践専門課程認定年度																																					
服飾・家政		服飾専門課程		ファッションスタイリング科		平成21(2009)年度		-		平成26(2014)年度																																					
学科の目的		ファッションの専門知識と技術、そして、変遷するファッション業界において、順応できる幅広い視野と美意識を備え、生活をより快適かつ美的なものにするための社会貢献が出来る人材育成																																													
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)		ファッションビジネス能力検定2級3級 Styling Mapトータルスタイリスト検定ジュニア、プレイヤー フォーマルスベチャリスト検定準二級 リテールマーケティング(販売士)検定2級																																													
修業年限		昼夜		全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義		演習		実習		実験		実技																																	
2年		昼間		※単位数時間、単位いづれかに記入		1,800 単位数時間 510 単位数時間		0 単位数時間 0 単位数		1,290 単位数時間 単位		0 単位数時間 0 単位数		0 単位数時間 0 単位数																																	
生徒総定員		生徒実員(A)		留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)																																									
70人		43人		2人		5%																																									
就職等の状況		<table border="1"> <tr><td>■卒業生数(C)</td><td>:</td><td>20</td><td>人</td></tr> <tr><td>■就職希望者数(D)</td><td>:</td><td>18</td><td>人</td></tr> <tr><td>■就職者数(E)</td><td>:</td><td>12</td><td>人</td></tr> <tr><td>■地元就職者数(F)</td><td>:</td><td>12</td><td>人</td></tr> <tr><td>■就職率(E/D)</td><td>:</td><td>67</td><td>%</td></tr> <tr><td>■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)</td><td>:</td><td>100</td><td>%</td></tr> <tr><td>■卒業者に占める就職者の割合(E/C)</td><td>:</td><td>60</td><td>%</td></tr> <tr><td>■進学者数</td><td>:</td><td>2</td><td>人</td></tr> <tr><td>■その他</td><td>:</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>進学者数: 2名 (令和4年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報)</p> <p>■主な就職先、業界等 (令和4年度卒業生) アパレル業界</p>										■卒業生数(C)	:	20	人	■就職希望者数(D)	:	18	人	■就職者数(E)	:	12	人	■地元就職者数(F)	:	12	人	■就職率(E/D)	:	67	%	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)	:	100	%	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)	:	60	%	■進学者数	:	2	人	■その他	:		
■卒業生数(C)	:	20	人																																												
■就職希望者数(D)	:	18	人																																												
■就職者数(E)	:	12	人																																												
■地元就職者数(F)	:	12	人																																												
■就職率(E/D)	:	67	%																																												
■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)	:	100	%																																												
■卒業者に占める就職者の割合(E/C)	:	60	%																																												
■進学者数	:	2	人																																												
■その他	:																																														
第三者による学校評価		<p>■民間の評価機関等から第三者評価: 有</p> <p>※有の場合、例えば以下について任意記載</p> <p>評価団体: 私立専門学校等評価研究機構 受審年月: 平成28(2016)年10月 評価結果を掲載したホームページURL: <a href="https://www.musashino-fashion.ac.jp/disclosure/">https://www.musashino-fashion.ac.jp/disclosure/</a></p>																																													
当該学科のホームページURL		<a href="https://www.musashino-fashion.ac.jp/course/fashion_styling/">https://www.musashino-fashion.ac.jp/course/fashion_styling/</a>																																													
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいづれかに記入)		<p>(A: 単位数による算定)</p> <table border="1"> <tr><td>総授業時数</td><td>1,800 単位数時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>30 単位数時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>0 単位数時間</td></tr> <tr><td>うち必修授業時数</td><td>1,440 単位数時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>0 単位数時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>0 単位数時間</td></tr> <tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>60 単位数時間</td></tr> </table> <p>(B: 単位数による算定)</p> <table border="1"> <tr><td>総授業時数</td><td>69 単位数</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>1 単位数</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>0 単位数</td></tr> <tr><td>うち必修授業時数</td><td>56 単位数</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>2 単位数</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>0 単位数</td></tr> <tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>2 単位数</td></tr> </table>										総授業時数	1,800 単位数時間	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	30 単位数時間	うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位数時間	うち必修授業時数	1,440 単位数時間	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	0 単位数時間	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位数時間	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	60 単位数時間	総授業時数	69 単位数	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	1 単位数	うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位数	うち必修授業時数	56 単位数	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	2 単位数	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位数	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	2 単位数								
総授業時数	1,800 単位数時間																																														
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	30 単位数時間																																														
うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位数時間																																														
うち必修授業時数	1,440 単位数時間																																														
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	0 単位数時間																																														
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位数時間																																														
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	60 単位数時間																																														
総授業時数	69 単位数																																														
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	1 単位数																																														
うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位数																																														
うち必修授業時数	56 単位数																																														
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	2 単位数																																														
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位数																																														
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	2 単位数																																														
教員の属性(専任教員について記入)		<table border="1"> <tr> <td>① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8人</td> </tr> </table> <p>上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数</p> <p>4人</p>										① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	8人	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	0人	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0人	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0人	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0人	計	8人																								
① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	8人																																														
② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	0人																																														
③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0人																																														
④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0人																																														
⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0人																																														
計	8人																																														

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

本校の教育方針に共感し、人材教育の重要性を認識している企業との連携によって、ファッション業界に向けた職業の実践教育によって有益な人材を生み出す。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

専門学校武蔵野ファッションカレッジにおいて、専門的且つ、実践的な職業教育を実施するために、企業との連携を通じて必要な情報収集、分析を行い、授業の内容や手法の改善、カリキュラムおよびシラバスの策定を行うこととする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
石木 賢二	株式会社Vowel ディレクター/デザイナー	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
財城 里佳	一般社団法人日本ファッションスタイリスト協会	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	①
前野 祥子	株式会社レイ・カズン	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	③
須澤 麻紀	本校 校長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	—
松山 由未	本校 教務部 教務課 主事	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	—
箕輪 雅春	本校 教務部 スチューデントサポート課 主事	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	—
奈良 将之	本校 教務部 教務課	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	—
三枝 壘	本校 教務部 教務課	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	—
田中 日菜子	本校 教務部 スチューデントサポート課	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	—
齋藤 誠志	本校 教務部 スチューデントサポート課	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	—
折笠 仁美	本校 教務部 教務課	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(10月・3月頃)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年10月5日(水) 17:00～18:30

第2回 令和5年3月3日(金) 15:00～16:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

『コンピューターグラフィックス以外にエクセル・ワード・パワーポイントなど、ビジネスでのPC基本操作の授業を導入した。』

『デザイン画1・2』では授業内での提出用紙サイズはB4とし、大きな画面で訓練を重ねることにより熟達に繋げていく。

『スタイリング1～3』では古着を多様な手法でリメイクし、自由な発想の元でアップサイクルを行っている。

『プレゼンテーション』では、より実践的なスキルとして、PCでの資料作成を学べる枠組みを構築している。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

現職の業界人を講師として起用し、企業の業務手法を在学中に身につけ、且つ人格的にも社会で通用するレベルになる様、礼節も身につけることとする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

1.『スタイリストトレーニング1』

スタイリスト及びアシスタントの実務内容に則った知識と技術など、即戦力というレベルを目指す。スタイリストとしての姿勢と素養も身につける。学習成果に対する評価は企業側が行う。ワークシートによる知識習熟度のチェック、受講姿勢と理解度の観点から科目成績を出し単位の取得とする。

連携企業「株式会社エーツー」

2.『ビジネスマナー』

ヴィジョン、想い、コンセプト、世界観を的確に伝えるための「イメージ」をトータルプロデュースする手法を学ぶ。学習成果に対する評価は企業側が行う。筆記テストと演習においての習得度から科目成績を出し単位の取得とする。

連携企業「一般社団法人イメージプロデュース協会」

3.『販売士検定2級対策講座』

販売業務全般の理解と販売士検定2級と同レベルの専門知識の習得を目指す。授業テーマに沿って、講義・演習を行う。学習成果に対する評価は企業側が行う。小テスト及び過去問題、受講姿勢から科目成績を出し単位の取得とする。

連携企業「株式会社エストール」

4.『ヘアメイク2』

応用のヘアメイクテクニックの習得を目指す。テーマやテイストなど独自の世界観を具現化することが到達点である。学習成果に対する評価は企業側が行う。課題提出と取り組み姿勢、トータルコーディネーターとしての完成度から科目成績を出し単位の取得とする。

連携企業「株式会社enny」

5.『コレクションセミナー1』

業界の現状と動向、ファッショントレンドについての最新情報。

イメージからオリジナルな作品へ、ファッションの魅力を探り下げ、想像力と表現する楽しさを実体験する。

学習成果に対する評価は、企業側と教務部で協議の上で行う。

連携企業「株式会社TEN10」

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
スタイリストトレーニング1	スタイリストアシスタントとして必要な基礎知識・技術・素養を身につける。	株式会社エーツー
ビジネスマナー	企業人としての姿勢、言葉づかい、礼節を知識の習得から所作として身につける。	一般社団法人イメージプロデュース協会
販売士検定2級対策講座	1.小売業の種類 2.マーチャントライジング 3.ストアオペレーション 4.マーケティングなど、テーマに沿って、講義・演習を行う。	株式会社エストール
ヘアメイク2	シチュエーション・テイスト・イメージに合わせ、トレンド感のあるヘアメイク表現を習得する。	株式会社enny
コレクションセミナー1	イメージを他者に伝えるための、ヴィジュアル表現テクニックとクリエイティブなまなざしを養う。	株式会社TEN10

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

職業実務教育の観点から最新の業界情報まで精通した教員能力維持のため、『ファッション業界の実務研修』『指導方法向上の研修』『就職指導研修』を計画的に行い、職業教育の向上に努めている。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	『ミラノ・パリコレクションセミナー』	ファッション振興財団主催
期間:	2022年11月8日(火)	教務部
内容	ファッショントレンド情報取得 ファッション振興財団主催『2023春夏ミラノ・パリコレクション速報』 聴講	
研修名:	記念講演『人間にとってビーズとはなにか』	渋谷区松濤美術館
期間:	2022年11月19日(土)	教務課
内容	企画展:国立民族学博物館コレクション『ビーズ』 池谷和信氏 記念講演会 聴講	
研修名:	シンポジウム『ビーズからのメッセージ一つながり・かざる・みせるー』	渋谷区松濤美術館
期間:	2022年12月10日(土)	教務課
内容	登壇者:池谷和信氏(国立民族学博物館教授)、佐古孝子氏(ビーズ織作家)、中村香子氏(東洋大学教授)、川口幸也氏(元立教大学教授) 聴講	

②指導力の修得・向上のための研修等		
研修名：『芸術学演習 I-2 美術批評』	京都芸術大学	
期間：2023年3月5日(日)	教務課	
内容 「美術批評」というジャンルについての考察		
研修名：『専門知識がなくてもできる文章指導』	公益財団法人日本漢字能力検定協会	
期間：2022年10月31日(月)	教務課 就職担当者	
内容 語彙・文法・資料分析・文章読解等、文章指導に関する専門学校教員対象のセミナー		
研修名：『学校における合理的配慮の提供について』 臨床心理士 野町一成氏口	学校法人後藤学園 法人事務局	
期間：2023年3月17日(金)	教務部 管理職	
内容 法改正による「合理的配慮の提供」の義務化に対応した上で、誰にとっても学びやすい学校を目指す環境の整備		

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：『ミラノ・パリコレクションセミナー』	ファッション振興財団主催	
期間：2023年11月7日(火)	教務部	
内容 ファッショントレンド情報取得 ファッション振興財団主催『2023春夏ミラノ・パリコレクション速報』		
研修名：『芸術論 I-3 芸術鑑賞1 日本・東洋』	京都芸術大学	
期間：2023年7月21日(日)	教務課	
内容 鑑賞と知識、作品の学術的な情報と観察力・論述と文章表現		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：『論文研究演習』	京都芸術大学	
期間：2023年4月22日(土)	教務課	
内容 資料分析・文章読解等、文章指導力の向上を目的とする。		
研修名：メンタルヘルス教職員研修(基礎研修)	臨床心理士 神田亜弥子	
期間：2023年7月10日(月)	教務部	
内容 発達障害・LGBTQに対する理解と対応		
研修名：令和5年度専修学校准教員・服飾3級教員認定研修会	臨床心理士 神田亜弥子	
期間：2023年9月16日(土)、9月30日(土)、10月7日(土)	教務部	
内容 専修学校の制度と法規、教育とは何か(教育入門)、教育技術、心理学入門		

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

“専門学校に希求される教育活動、その他の学校運営について、継続的に改善を図り、教育内容の質の向上を目指す。自己点検・自己評価を実施することにより、学校の公共性を担保する。”  
□

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	育成する人材像・将来的(中期的)構想・学校の特色
(2)学校運営	運営方針・事業計画・運営組織及び意見決定システム・人事考課制度
(3)教育活動	教育目標・業界の人材ニーズとの整合性・カリキュラムの体系化
(4)学修成果	就職率・資格取得率・退学率・卒業生の社会的な活躍及び評価
(5)学生支援	就職指導体制・学生相談体制・経済的支援体制・保護者との連携
(6)教育環境	施設・設備の整備、学外学習、インターンシップ、海外研修等の教育体制
(7)学生の受入れ募集	学生募集活動の適正化・入学選考基準・学納金の妥当性
(8)財務	財政基盤の安定性・予算、収支計画の有効性・会計監査の適正化
(9)法令等の遵守	法令、設置基準等の遵守制、自己点検・自己評価の実施及び公開
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献の実態・学生のボランティア活動の支援
(11)国際交流	—

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

SDGsに学園全体で取り組み、「社会の変化への対応」を考慮している本学の運営方針は、各委員の共感を得られている。学生募集の面での新たな施策も高く評価をいただいた。コロナ禍後の動向を注視しながら、まずは常勤教員で現行カリキュラムの適合性を検討した上で、学校関係者委員へ改訂の是非を問う。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
田中 大資	株式会社クレヨン 代表取締役	令和4年4月1日～令和6年3月31日(1年)	企業等委員
窪田 春花	川崎市立川崎高等学校	令和4年4月1日～令和6年3月31日(1年)	高等学校教員
古本 舞	萬リンク株式会社 代表	令和4年4月1日～令和6年3月31日(1年)	卒業生
石木 賢二	株式会社Vowel	令和5年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等委員
須澤 麻紀	本校 校長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(1年)	-
松山 由未	本校 教務部 教務課 主事	令和4年4月1日～令和6年3月31日(1年)	-
箕輪雅春	本校 教務部 スチューデントサポート課 主事	令和4年4月1日～令和6年3月31日(1年)	-
奈良 将之	本校 教務部 教務課	令和4年4月1日～令和6年3月31日(1年)	-
三枝 壘	本校 教務部 教務課	令和4年4月1日～令和6年3月31日(1年)	-
田中 日菜子	本校 教務部 スチューデントサポート課	令和4年4月1日～令和6年3月31日(1年)	-
齋藤 誠志	本校 教務部 スチューデントサポート課	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	-
折笠 仁美	本校 教務部 教務課	令和4年4月1日～令和6年3月31日(1年)	-

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。  
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ))

URL: <https://www.musashino-fashion.ac.jp/disclosure/>

公表時期: 2023年8月10日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

公的な教育機関として教育活動や取り組み等の学校運営の全体状況を、誠実に積極的に整合性のある情報を提供する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	・校長・校訓・基本組織・事業報告書
(2) 各学科等の教育	・学科・教育研究上の目的・入学者の受け入れ方針・入学者数
(3) 教職員	・教職員の構成
(4) キャリア教育・実践的職業教育	・就職支援・実践的職業訓練
(5) 様々な教育活動・教育環境	・学校行事への取り組み状況
(6) 学生の生活支援	・学校支援への取り組み状況
(7) 学生納付金・修学支援	・学生納付金、納入時期等・就学支援、奨学金制度等
(8) 学校の財務	・財務情報・監事監査報告書
(9) 学校評価	・自己点検・自己評価報告書・学校関係者評価報告書
(10) 国際連携の状況	-
(11) その他	-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ))

URL: <https://www.musashino-fashion.ac.jp/disclosure/>

公表時期: 2023年8月10日

授業科目等の概要

(服飾専門課程ファッションスタイリング科)														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 単 位 時 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択					講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			スタイリング1	デザインから型紙製作、縫製と一連の製作行程で服の構造を理解します。スタイリング1ではシャツを製作し、トップスの理解を目的とします。	1前	120	4	△		○	○	○		○
○			スタイリング2	デザインから型紙製作、縫製と一連の製作行程で服の構造を理解します。スタイリング2ではパンツを製作し、ボトムスの理解を目的とします。	1前	120	4	△		○	○	○		
○			スタイリング3	デザインから型紙製作、縫製と一連の製作行程で服の構造を理解します。スタイリング3ではカジュアルジャケットを製作し、上着の理解を目的とします。	1後	120	4	△		○	○	○		
○			ビジネスコミュニケーション	課題を解決し、顧客やパートナーの満足度を高めることで評価されるのが仕事。このようなビジネスシーンで要求されるコミュニケーションスキルの向上を図る。	1後	30	2	○		△	○		○	○
○			ファッションビジネス1	アパレル業界全体の仕組みを包括し、基礎から理解します。	1前	30	2	○			○	○		
○			ファッションコーディネート1	パーソナルカラーの基本的知識を習得し、色の特性を理論的に識別判断できる能力を養います。	1前	30	2	○			○			○
○			スタイリングマップ1	デザイン画の基本プロポーションと衣服の関係を把握し、デザインの構造を正確に描けるように、基本技術を高めめます。	1前	30	2	○		△	○			○
○			デザイン画1	デザイン画1で習得した基本技術をもとに、さまざまなものを使ってデザイン発想の練習をし、応用力・発想力を身につけます。	1前	30	1	△		○	○			○
○			デザイン画2	繊維→糸→織物・編物→加工→製品までの流れに関する講義と各々の企画に合わせた素材提案マップを製作します。	1後	30	1	△		○	○			○
○			ファッションマテリアル1	素材、副資材等の知識、ミシン、アイロン他、用具の扱いを学び、スカートの制作行程を通して、縫製技術の基礎を習得します。	1後	30	2	○			○			○
○			アパレル技術	パターンの基礎知識とパターンメイキングの基本を習得します。	1前	30	1			○	○		○	
○			パターンメイキング	パターンの基礎知識とパターンメイキングの基本を習得します。	1前	30	1			○	○		○	
○			コンピュータグラフィックス1	Macintoshの基本操作をはじめ、Adobe illustratorや Adobe Photoshopの基本操作、各種ソフトの特徴を理解して目的に応じた適切な方法を選択し、仕上げるまでの授業を副教材を用いて行います。	1前	30	1			○	○		○	

○		ビジネスマナー	社会人としてのビジネスマナー、接客マナーを学び身につけます。 就職活動対策も兼ね、就職活動をスムーズに行えるようにします。	1後	30	2	○		○		○		
○		incubate collection	ファッションショーの準備、運営の授業を通し、組織として一つの目標に向けて行動します。責任感、行動力、協調性、等、社会人基礎力を養う内容です。	1後	30	1			○	○		○	
○		プレゼンテーション1	製作物等を使ってプレゼンテーションを行います。自分の考えを適切に伝え、良さを理解し共感を得られるよう、目指します。	1通年	30	1			○	○		○	
○		マーケットリサーチ1	店舗リサーチから美術館見学まで幅広く行う校外見学の授業です。必ずレポートを製作し知識や情報を蓄積します。	1通年	30	1			○		○	○	
○		コレクションセミナー1	市場動向やファッショントレンドについての最新情報を得る授業です。また、業界で活躍中の方や卒業生の講演もあります。	1通年	15	1	○			○		○	○
○		イベントプロデュース1	学園祭などの準備から実施までの内容です。終了後レポート提出があります。	1通年	60	2			○	○		○	
○		ヘアメイク1*1	ヘアスタイリング、スキンケア、メイクの概論から入り、後半では実習を行います。メイク技術だけでなくコラージュ製作等でコンセプトの理解力も養います。	1通年	30	1			○	○			○
○		スタイリストトレーニング1	スタイリストの役割の理解からはじまり、現場に必要な専門的スキルを身につけ、2年次で行う現場研修(スタイリストトレーニング2)につなげます。	1後	30	2			○	○			○
○		ファッションビジネス2	進歩・変革し続け、絶えざる創造を必要とするファッションビジネスの世界で活躍する際に必要となる専門的な知識を身につけ、将来活躍するアパレル企業・業界にて活躍出来るように備えます。	1後	30	2	○			○		○	
○		ショップマネジメント1	期間限定ショップ【incubate】の運営です。1年生は2年生のサポート的役割を担います。2年生がどう考え行動しているのか理解し、協力して下さい。	1前	30	1			○	○		○	
○		ファッションリテール	ファッションアドバイザーの仕事の理解、接客マナー、現場力、コミュニケーション能力を磨く。	1後	30	1			○	○		○	
○		リクルートガイダンス1	就職活動における基本的マナーと活動方法を身につけ、意思決定がなされるように進路選択をしていきます。ファッション業界の就職の仕方を学びます。	1後	30	2	○			○		○	○
○		コンピュータグラフィック2	必修科目CG1で学んだ主な基本操作の復習と、自由なアイテムに自由なプリント手法を使用したオリジナルデザインプリントを製作し、更なる知識、技術の追求を深めます。	1後	30	1			○	○		○	
○		販売士2級検定対策	単なる「受験対策講座」ではなく、テキストの内容を実在する企業のケース事例や戦略に例えて解説講義を実施。直前対策として、「出題予想模擬試験」及び「解答解説講義」を実施。	1前	30	2	○			○			○
○		英会話	ネイティブの英会話講師による、店頭での接客を前提とした英会話を学びます。	1後	15	1	○		△	○			○
○		コンテストコーチング	各種デザインコンテストに入選する為のノウハウを身につけます。	1後	30	1			○	○		○	





○	ファッションビジネス3	進歩・変革し続け、絶えざる創造を必要とするファッションビジネスの世界で活躍する際に必要となる専門的な知識を身につけます。	2前	30	2	○				○	○		
○	ファッションマーケティング	マーケティングは目的達成の為の仕組みであると言い換える事も出来ます。課題を実習形式のグループワークで取り組み、学んでいきます。	2後	30	2	○				○	○	○	
○	ショップマネジメント2	PDCAサイクルを学生に体感させる実践的教育としての期間限定ショップ【incubate】の運営です。課題を与えそれに対して個人又はグループで解決してゆく形式で進めます。	2前	90	3					○	○	○	
○	リクルートガイダンス2	1年時に身につけた知識を基に進路を探求します。各自の進路に合わせ、面接指導や個別相談で就職試験の準備をします。	2前	30	1	○				○	○	○	
○	ビジュアルマーチャンダイジング	ヴィジュアルマーチャンダイジングは店舗設計～商品のディスプレイまで幅広いものです。知識だけでなく最後の授業では、まとめとして商品ディスプレイを実習で行います。	2前	45	3	○				○		○	
○	スタイリストトレーニング2	スタイリストの現場研修『インターンシップ』です。スタイリストトレーニング1で学んだ内容を現場で生かしていきます。	2通年	60	2					○	○	○	○
○	アパレルインターンシップ	現在学習している事が実際社会でどのように活用・展開しているかを知る事により、社会に出る為に今後何を学ぶべきかを認識し、勉学への意欲の向上を図ると共に、将来の職業適性や設計を考える機会とし、社会人としての自覚・職業観の育成を目的としています。	2通年	60	2					○	○	○	○
○	帽子製作	自分のイメージした作品のデザインを、いかに厳密に正確により早く美しく仕上げるかを、製作を通して学びます。	2前	30	10					○	○		○
○	ネイルアート	ネイル技術を用いた、指先に美しさと華やかさを創造し、トータルビューティーを目指します。ネイルケア、フラットアート、エンボスアート、3D立体、ミックスメディアアートを学びます。	2後	30	1					○	○		○
○	コンテストコーチング	各種デザインコンテストに入選する為のノウハウを身につけます。	2前期	30	1					○	○	○	
○	モデルウォーキング2	incubate collectionでのモデルです。レッスンを受講後、本番に望みます。服が最高に良く見える様、作品に合わせ美しく歩くことを、指導します。	2後	30	1					○	○		○
○	ヘアメイクスタッフ2	ファッションショー用のヘア&メイクアップの習得です。担当作品についてのヘア&メイクアップのプランニングから実施まで行います。	2後	30	1					○	○	○	○
○	コレクションスタッフ	ファッションショーの準備、運営の授業を通し、組織として一つの目標に向けて行動します。責任感、行動力、協調性、等、社会人基礎力を養う内容です。	2後	30	1					○	○	○	
○	キャンパスサポート2	体験入学で誘導や実習でのサポートを通して、初対面の方とも笑顔で会話が出来る接遇力を高めます。	2通年	30	1					○	○	○	
合計				59	科目	101 単位 (単位時間)							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：188時間以上・69単位以上取得		1学年の学期区分	2期
履修方法：課題提出や試験、受講姿勢による総合評価		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。